

進む自己改革

令和5年度の成果をお知らせします

JA秋田なまはげは管内の農業振興や地域の発展に寄与する事業を展開し、地域になくはならないJAであり続けるため、自己改革を継続的に実践しています。令和5年度に行った自己改革の内容とその成果をご紹介します。



法人・担い手組織等の設立・運営を支援

管内で進められる大規模基盤整備や農業法人・担い手組織の立ち上げにかかる支援を行いました。また、設立後も経営収支や栽培技術などの相談を継続しています。

農業法人と農産物の販売実績や収支などを振り返り検討

〔生産拡大につながる目標〕

令和4年度

令和5年度

94 法人・組織 ➡ 100 法人・組織

極良食味品種「サキホコレ」の産地化の促進

「サキホコレ」の品質の安定確保などのため、栽培指導や現地研修会などを実施しました。また、特別栽培米の全量開始に向けて、生産者へ肥料設計や防除体系などの周知を図っています。



※検証試験を含む。

〔所得増大につながる目標〕

令和4年度

令和5年度

〔栽培面積〕 75.5ha [生産者] 77戸 ➡ [栽培面積] 113.3ha [生産者] 98戸

苗代巡回で苗の生育を確認

肥料・農薬直行配送と超大型規格農薬の取り扱い拡大

担い手生産者の生産コストの低減やスムーズな供給に繋げるため、大規模経営体に肥料・農薬の直行配送や超大型規格農薬を提案して取り扱いを拡大しました。

〔コスト低減につながる目標〕

令和4年度

令和5年度

34件 ➡ 46件



効率化や価格などにメリットがある超大型規格



最新技術による労働力・作業時間短縮等の技術提案

ICT(情報通信技術)を活用した農業機械や農業用ドローン、栽培管理システムなどを生産者のニーズを伺いながら提案し、農作業の省力化と労働力の確保を図りました。

水田用自動給水機「アクアポート」実証試験

〔コスト低減につながる目標〕

令和4年度

令和5年度

31件 ➡ 79件

担い手経営体への訪問・相談活動の活発化

令和5年度から農業融資専任職員を増員しました。農業融資専任職員と担い手支援室を核として、相談内容に応じて関係機関などとも連携し、担い手生産者への個別対応を強化しています。

〔経営基盤強化につながる目標〕

令和4年度

令和5年度

605件 ➡ 1,781件

農業法人で圃場管理システムを説明



今年度も自己改革を続けて産地の成長を促し、持続可能な地域農業の実現を目指します。